



道徳教育について

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

令和3年なかなか大変な年があげました。昨年は自然保護活動が制約されました。またヒュッテの宿泊も自粛を余儀なくされました。今年もどのような年になるか予想がつかません。どのような展開になると、夕張岳の保護とヒュッテの管理運営はしなければなりません。夕張岳の保護活動も例年同様実施したいと思います。ヒュッテの方は炊事棟の暖房の工事があります。現在の薪ストーブは谷口正美さんから寄贈されたもので、旧ヒュッテ時代から使用しています。老朽化が進み今まで何とか使用してきましたが、もう限界です。新しい暖房はベチカ風暖炉です。昨年の母屋煙突と同じように煉瓦施工なので、煉瓦の達人秋元職人がいるのでうまく行くと思います。皆様の協力をお願いいたします。

また前回も書きましたが、里の植物の侵入が脅威になってきています。アポイ方式に見習い登山者の靴の洗浄をしてもらおうと思っっています。ただ効果があるかわかりませんが、駐

第114号

2021.02.05 発行

(令和3年)

ユウパリコザクラの会

事務局(菊地)

〒069-0835

江別市文京台南町53-13

FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ



https://www.facebook.com/

yuparikozakura/

車場ゲートから登って第一カーブのところに試しに設置したいと思っています。何か良いアイデアがありましたらどしどしお寄せください。

地元北寿産業のご厚意で大量の薪原木が手に入りました。大半はヒュッテに運びましたが、私の沼ノ沢の実家の畑にまだ十台分くらいあります。A井さんが精力的に薪割をかって出してくれました。今年も意欲満々です。強力な？油圧式薪割り機、トルネード楔式薪割道具があります。皆さまの絶大な協力をお願いいたします。

さて一昨年から夕張中学で道徳の授業をコザクラの会が担っています。あの前事務局長が受けてきました。甚だ不本意ですがこの私が担当しています。来る二月四日が講義の日で3回目になります。道徳の内容は「どちらを選びますか？夕張岳」です。夕張岳はどんな貴重な自然が見られるのか。なぜ夕張岳をまもろうとしたのか。ユウパリコザクラの会の主な活動内容は何か。中学生に対する願い。道徳授業が評価を付けないということでお受けしたのですが、私が話せるようなことではない、なかなか重いテーマです。

ケネディ元大統領の演説を引用して「国があな

たのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい。」と偉そうに話しました。今コロナで自助・共助・公助なる言葉が言われていますが、公助でなければどうにもならないことがあります。夕張岳の保護も行政がやらなければならぬことを我会がかなり食い込んでやっています。やらざろう得なかった思い等を話そうと思っています。

中学と高校の二級教員免許がありましたので、三十五年くらい前のことですが、田舎でのんびり学校の先生をして暮らそうと思ったことがあります。石狩支庁に履歴書を出しましたが、今思えば教員の道を進まなくてよかったと思っています。単なる生活の糧として選択できる職業ではないと思います。来年は崇高な理念を持った人と代わりわりたと思っています。

今まで「子ども体験登山」などに参加した子どもたち。またこの授業で自然保護の大切さを理解した子どもたちの数人でも大人になったら、夕張岳の保護活動に参加してもらいたいと切に望んでおります。

最後にお詫びを申し上げます。昨年完成した母屋の煉瓦煙突の件ですが、皆さんの労に報いたくて、煉瓦を積んだ人の記念として、名前を彫ってもらいました。冷静に考えてみればあくまでも夕張市の建物です。やはり落書きになると思います。春になったら消そうと思っています。どうかご理解をお願いいたします。

自然保護観察員の一年を振り返って

(自然保護観察員) 谷口 鏡子

年25回。昨年4月より北海道から委託を受けた「自然保護監視員」の活動予定数である。感染症対策のため本来予定されていた研修会が中止となり、初任の自分にとって書面のみ業務指示は何とも心もとないもの……。大きな不安を抱えつつの船出を余儀なくされました。

25回を5月〜11月の7か月間で実施するわけで、登山シーズン最盛期の7、8月は月6回。単純計算で5日に一回!? いやいやいや、本業もあるのにどーする? 監視業務の内容以前に従事日数の捻出からすでに頭が痛い! 走馬灯のように不安と責任感が脳内を駆け巡る……。こういう時に本性が出るもの、楽天家の自分の答えは「なんとかなる」。

幸い自営業で時間に融通が利くことと子供も中学生になり今までより自分時間が持てるだろうと覚悟を決めるに至りました。

監視業務の記念すべき初日は6月の第一週、コザクラの会主催の高山植物盗掘防止パトロールに随行することになりました。雪が多く残る夕張岳は、人を寄せ付けない厳しさを纏いつつも春を迎えた植物たちの喜びがそこかしこに感じられ、夏場とは一味も二味も違う佇まい。



雪渓トラバース

しかし雪渓を歩く経験は初めてで予想以上の緊張感にすっかりへっぴり腰に。パトロール隊について行くのがやつとではありましたが無事に往復することができました。

その日以降、本業や家族への負担を考慮して毎週日曜日を監視日と決め、せつせと山通い。最初のうちは、「監視」といっても何をしたらいいのかも分からない状態で、登山道や植物の観察と登山者数の確認に徹していました。そのうち少しずつ花の名前が分かるようになると足元に広がる世界にすっかり魅了され、またほんの数秒の小動物との出会いを経験し、この貴重な環境を守ることに意義を改めて感じるに至りました。そしてせっかく毎週訪れるのだから「ついで」に



パトロールで回収したゴミ

できることを考えると……。まずはゴミ拾い! 登山道を意識して見る習慣ができると思議なものでゴミがよく目に入る。一番多かったのはアメやチョコなどの包みでしたが、目立ったのはポールキャップ、笹や岩の間などに挟まると結構簡単に取れてしまうようです。ポール利用の際はビニルテープなどで補強することをお勧めします。他にも大小様々な落とし物がありましたが、見逃せないのはトイレ跡。携帯トイレの利用や使用した紙類の持ち帰りが常識として定着しつつあるものの、ゼロにするまでには至っていないのが実情です。「花の夕張岳」を期待して訪れてもティッシュの白い花を目にすれば折角の思い出が全て台無し。登山者各個人の意識向上がまだまだ必要だと感じています。



林道に捨てられたゴミ

しかし、(他の山の実情を把握しているわけではありませんが) 夕張岳を訪れる登山者のマナーは全般に良好で登山者間のトラブルは少ないように思われます。感染症予防の観点からヒュッテでの宿泊を不可としたこともあって登山者数が少なかつたせいもあるかもしれませんが。一点気になるのは駐車マナー、少しでもゲートに近いとこ



滑落の危険がある急斜面

ティが目立ち、  
 大人数で訪れる  
 傾向は忌避されたように  
 感じました。  
 特記すべきは  
 「トレールラン  
 ニング」(トレ

緊急車両の通行に支障がない配慮は  
 も忘れないでいただきたい。決して広くないス  
 ペースですので街中以上に譲り合いの精神が必  
 須だと思われます。さらに駐車場や林道での落  
 とし物や飲食ゴミの放置も数件確認しています。  
 ゴミは論外ですが、落とし物は靴下や着替えなど  
 下山した安心感と疲労感からの気の緩みが想像  
 されますので、帰路の運転も含めて「無事に家に  
 帰るまでが登山」を肝に銘じたいものです。  
 例年道外からの登山者が多い夕張岳、県をまた  
 いでの移動が制限されたことと、山岳関係団体  
 より近場の登山を奨励する呼び掛けの影響で(入  
 林届け名簿を見る限り)道内在住者が高い割合  
 を占めました。また単身やペアという少人数パー



迷惑駐車はやめよう

ろに停  
 めたい  
 気持ち  
 は誰に  
 もあり  
 ますが、  
 ぜひと



馬の瀬コースの倒木処理

の行程を3時間ほどで往復してしまう・・・。楽  
 しみ方は個々それぞれではありますが、天然記念  
 物に指定されている山なのに文字通り「駆け足」  
 で素通りは勿体ないような。そして「憩いの沢」  
 までの登山道は元より対面ですれ違う余裕が限  
 られており、笹の繁茂で見通しが悪い箇所が多く  
 他登山者との接触や転倒、滑落の恐れがあるので  
 はと案じています。笹の刈り払いにはシーズン終盤  
 に数回に分けて行われており、見通し確保と同  
 時に他植物の成長を促す効果も期待されますが、  
 いかんせん機材の運搬など作業者への負担は決  
 して小さくありません。そうした制約のある中で  
 昨年は馬の背コースに立派な階段が二カ所も設



熊に噛まれた看板の交換

ラン)愛  
 好者が  
 少なく  
 なかつ  
 たこと。  
 平均7  
 時間半

置され、巨大な倒木も撤去もしくは容易に通行可  
 能な状態となり下りでのストレスが大きく軽減  
 されたことは特筆に値します。作業を担当された  
 方々には感謝の念しかありません！  
 地道な管理作業によって快適な登山環境が維  
 持されていることを「監視員」を引き受けて改め  
 て痛感しました。もう一つ痛感するのが登山者増  
 加と自然保護の両立の難しさです。コロナ禍で  
 見直されているアウトドア活動全般にも言える  
 ことですが、人間の立ち入りが増えることで様々  
 な問題が生まれています。希少植物の踏みつけや  
 外来植物の持ち込み、ゴミの野生動物への影響な  
 ど、どれも悪意がない場合が多く、だからこそ余  
 計に深刻な問題だと言えます。日常生活の利便  
 性、快適性が向上した結果、自然への畏敬の念が  
 置き去りになってしまうのは残念なことです。  
 「自然を愛する」と「自然を消費する」の違い  
 を今一度問い直しつつ、今年も25回の山通いを頑  
 張りたいと思います。



滑る粘土質斜面に階段を作る

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
2	6（土）～7（日）	ヒュッテ冬季巡視（1） ※予定
3	13（土） 14：00	山のトイレフォーラム エルプラザ
	20（土）～21（日）	春山パトロール
4	未定	木道整理事業打ち合わせ（1）
	未定	役員会
5	8（土）	総会（夕張りすた） ※予定
	未定	木道整理事業打ち合わせ（2）

※新型コロナウイルス関連の国や北海道などの緊急事態宣言や要請により、予定は変更や延期になる可能性があります。



今年は積雪タップリ！  
今年のヒュッテ周りは雪が多いようです。写真は1月23日の物です。昨年よりも相当多そうですが、これが例年並みなのかもしれない。ここ数年が少なかったようです。

天然記念物指定 25 周年記念ポスター準備中

天然記念物指定 25 周年を記念して、ポスターを制作中です。一般向け1種と市内&近郊施設掲示向け1種の2種類を作成します。現在、印刷に向けて最終校正中となっております。3月初旬には配布を予定しています。ポスターをご入用の場合（無料）は当会事務局までご連絡ください。（表紙に連絡先の記載あります）



一般向け（A）



市内&近郊向け（B）



下から見た白銀橋  
い区域であるので、次回も企画があれば、大夕張駅周辺等も見ておきたいと思えます。

旭沢橋梁  
旭沢橋梁は、2万人が暮らしていたそうなので、ゆかりのある方も多い事なのでしょう。旧白銀橋も全体の半分程が湖面から露出して、良く通った旧林道につながる分岐跡も見えてきました。看板を備え付けていた柱の跡が残っていました。



旧林道の分岐点（先に旧白銀橋）



旭沢橋梁  
旭沢橋梁は、2万人が暮らしていたそうなので、ゆかりのある方も多い事なのでしょう。旧白銀橋も全体の半分程が湖面から露出して、良く通った旧林道につながる分岐跡も見えてきました。看板を備え付けていた柱の跡が残っていました。

湖底に沈んだ町跡の散策  
9月6日にシューパロ湖沿いにあった大夕張の町跡を尋ねる見学会が行われました。渇水期には、湖底に沈んだ地区の約8割が姿を現すとされているため、三菱石炭鉱業大夕張鉄道線の旭沢橋梁、明石町駅ホーム、サイクリングロードに転用されていた同線線路敷など鉄道の旧施設、国道452号線旧道、建物の跡などを見学する無料の散策イベントが初めて開かれました。オープン時間前後は国道に長蛇の車列ができるほど混みあっていました。

会費の継続納入・ご寄付  
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物観察員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理  
と炊事棟建設にご支援を！

今年のヒュッテ営業自粛により、協力金としての計上は0円となりましたが、ヒュッテの募金箱などにたくさんの温かい寄付をいただきました。来年度は、延期したプロジェクトの遂行と天然記念物 25 周年の記念に残る行事が無事できるように、新型ウィルスの終息を願いたいと思っております。

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

（ヒュッテ用口座はコザクラ口座に統一されました）

